

草津市と米ポンティアック市 日本庭園造成式で使節団交流



ポンティアック市役所の隣に造営された「Kusatsu Friendship Garden」(草津市提供)

姉妹都市提携40年

草津市と米ミシガン州のポンティアック市の姉妹都市提携から今年で40年を迎えた。草津市の中学生らが今月、使節団として派遣され、ポンティアック市役所近くに新たに設けられた日

本庭園の造成式に参加するなどして交流を深めた。

ポンティアック市は同州南東部の自動車生産が盛んな工業都市。昭和43年に県と同州が姉妹州協定を結んだことをきっかけに交流が始まり、53年に姉妹都市提携した。草津市による

と、これまでに両市合わせ77回の使節団を派遣し、計630人が交流したという。

使節団は草津市内の中学生7人や公募市民15人らで構成。11月25、9日の8日間、ホームステイしながら現地の学校で授業を受けたり、自動車の歴史などを展示する「ヘンリーフオード博物館」を訪れたりした。

参加した中学生からは「アメリカの生徒は自分の意見を持つて積極的に発言

する人が多い」や「留学して英語を使う職業に就きたい」との感想が上がった。

8日には昨年、ポンティアック市の使節団として草津市を訪れて日本庭園の様式などを学んだ造園会社社長、米国人のティム・トラベスさんが設計した「Kusatsu Friendship Garden」の造成式が開かれ、使節団の市民らが出席した。同庭園はポンティアック市役所に隣接。草津市が贈呈した2つの灯籠や地球をイメージ

したという丸いオブジェなどが配置されている。

草津市のまちづくり協働課は「生活や文化の違いを市民が肌で感じ、多様性のある未来につながる貴重な経験となった。今後も交流を続けたい」としている。